

心不全のお薬

レニン・アンジオテンシン系抑制薬

- ACE(アンジオテンシン変換酵素)阻害薬
- ARB(アンジオテンシンII受容体拮抗薬)
- ARNI(アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬)

心不全ではホルモンが過剰に分泌されるため、心臓に負担がかかります。そのためホルモンを抑え心臓を保護します。また血圧が高いと心臓の負担になります。血圧を低めに保つことで心臓の負担を軽減します。



ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)

水分貯留や血圧上昇に関与するホルモンの働きを抑えて心臓を保護します。



β遮断薬

交感神経の緊張を和らげ、疲れた心臓を休ませて心臓を元気にするお薬です。このお薬は心臓の状態をみながら徐々に増やしていきます。



利尿薬

体にたまった余計な水分や塩分を尿として体の外に出し、心臓の負担やむくみをとります。尿を出すお薬ですが、飲まなければ体に水が溜まり心臓の負担になります。自己判断で中止せず医師に相談しましょう。



SGLT2阻害薬

糖と水分を尿として体の外に出します。尿に糖が含まれるため尿路感染の予防が大切です。下着は毎日取り替え、お風呂に入って清潔を保ちましょう。



その他

HCNチャネル遮断薬

心臓のはたらきを悪化させることなく脈をゆっくりにします。

可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC)刺激薬

血管を拡張、心臓の収縮エネルギーの効率を高めます。

強心薬

弱った心臓のはたらきを強化する効果のあるお薬です。

服用についてのQ&A



Q 夜間、トイレの回数が多くて眠れません。
利尿薬はやめても良いですか？

A 自分の判断で中止しないでください。夜間にトイレの回数が増えるのは日中に下半身に溜まった水分が横になることで、心臓に戻り腎臓へ流れこむからです。利尿薬の影響ではありません。

Q 症状がないため薬は飲まなくても良いですか？

A 中止はしないでください。風邪薬のように目に見える効果はありませんが、心不全が悪化しないように飲み続けることが大切です。

Q 朝ごはんを食べる習慣がありません。
朝食後の薬はどうしたら良いですか？

A 食事が不規則の場合は食事にかかわらず服用する時間を決めて、その時間に服用してください。しかし、食後に服用しなければいけない薬もあるため、かかりつけ薬局や医療機関へ相談しましょう。

Q 錠剤が多くて飲みません、どうしたら良いですか？

A 服薬補助ゼリーやオブラートなどを使用すると飲み易くなります。また、錠剤数を減らしたり、薬の形状を変更できる場合もありますので、かかりつけ薬局や医療機関に相談しましょう。